

#### 4. よこぜ寺坂棚田学校

<b>棚田名</b>	<b>よこぜ寺坂棚田</b>
所在地	埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬
百選等の認可	
棚田の概要	緩い傾斜地に、A地区：8枚12a、B地区：2枚13a。ほぼ100%復田。
<b>保全団体</b>	<b>よこぜ寺坂棚田学校</b>
設立年	2002年(平成14年)
沿革	2001年(平成13年) 基盤整備をする営農組合に町の補助事業の一環として委託した農村生活体験交流事業が好評で、都市と農村の交流をさらに深めるため寺坂棚田学校を開校。
代表者	会長 加藤 忠
連絡窓口	よこぜ寺坂棚田学校 電話・FAX：0494-24-2388 〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬1896-5
会員	指導員24名(男性15名・女性9名)、生徒65名(実働60名)
主要メンバー	加藤会長、平沼和雄副校長、平沼照次会計の三役で構成
拠点施設等	①川原田農園の施設を利用 ②農機具倉庫に付敷設した簡易打ち合わせ室
ポリシー 又は 活動の方向性	都市農村交流の具現。実際には、耕作放棄地を活用して都市住民の農業体験の場とする。体験の場を学校に見立てて地元民が先生、都市住民が生徒となって農業体験を展開し、棚田の保全を図る
<b>活動状況</b>	
運営資金	授業料1組1年1万円で運営。最近卒業生が1人1年1万円でオーナーになっている。
広報ツール	県の振興センター、町の振興課、観光協会の広報活動を利用
協力者	母体となる営農組合/寺坂中山間地等直接支払棚田管理組合
市民交流制度 (オーナー制度など)	オーナー制度：学校の卒業生が中心となって管理組合のもと学校隣接の田圃を復田してオーナーになる。景観作物活動、西部鉄道の募集企画、一日体験ツアーや稲刈りツアーを受け入れ。アストラゼネカ等のボランティア活動を受け入れ。年12回の作業の一つの収穫祭のほかに、ホテルかがり火祭り(7月第一土曜日)
棚田米販売	飯米農家が多く、指導員が活動費のために耕作している米も地域の縁故米で消化される
特産品開発	よこぜ寺坂棚田学校は黒米を売りにしている(農機具も専用機を所有)
直売所	
定期的イベント	
<b>地域の状況</b>	
直接支払の状況	寺坂中山間直接支払棚田管理組合が行っている 自作農家は5件
地域おこしグループ等	
後継者対策	通勤圏内の職場に勤務している人が多いので定年になったら応援してもらえるように声かけ
I・U・J・Oターン	都心に近く通勤圏内に職場がある為定年まで棚田から離れなくても勤められる
ボランティア受入	
行政の支援	生徒募集・作業予定連絡等は町の振興課、観光協会が応援
備考	第6回石井進記念棚田学会賞(平成21年度)